

地域で元気に社会貢献!



合言葉は「ご安全に!」

2月8日、札幌地区連合青年委員会は、札幌市内5か所にて高齢者のお宅を除雪する「除雪ボランティア」を実施しました。この「除雪ボランティア」は札幌市社会福祉協議会と連携し、20年以上継続してきた取り組みです。当日は記録的な少雪から一転し、突然のドカ雪となりましたが、参加した11組織63名の組合員は元気に作業を展開し、地域の高齢者の皆さんに感謝の言葉をいただきました。



やり遂げた充実の笑顔

担当した地域では雪が多く苦労もありました。訪問者の希望に丁寧に応えることができ、参加者もケガなく無事に作業を終えることができました。参加いただいた青年組合員の皆さん、そして主旨に賛同し協力いただいた多くの組織の皆さんありがとうございます。

札幌地区連合青年委員会 除雪ボランティアを実施 (2/8)

日米共同訓練 オスプレイ空自千歳基地飛来に係る状況

1月22日	日米共同訓練開始
1月27日	2機が飛来予定も中止
1月28日	1機が飛来予定も中止 以降、飛来中止が相次ぐ
2月4日	2機が飛来
2月5日	2機が千歳市上空を飛行
2月6日	矢別演習場への飛来中止
2月7日	オスプレイ訓練終了 1機のみ離陸・撤収
2月8日	日米共同訓練終了
2月10日	残り1機が離陸・撤収

※事務局調べ

なぜ「1機ずつの離陸・撤収」
結果、予定より8日遅れとなった2月4日に2機が

正」と「すべての労働者の立場にたった働き方」の実現をめざして、地域総合生活改善闘争を力強く展開しようと呼びかけました。

住民への情報提供に課題はなかったか

当初1月27日に予定されていた航自千歳基地への2機飛来は中止となり、以降も飛来中止が相次ぎました。また、地元住民に対しての中止理由などの情報が乏しい状況が繰り返されました。

空自千歳基地に飛来し、恵庭市などの北海道大演習場で訓練が行われ、千歳市内を飛行する「オスプレイ」が目撃されています。2月7日には訓練が終了し、撤収するはずの2機の「オスプレイ」は、原因が明らかにならずに1機のみが撤収となったことが明らかとなり、地元住民への情報提供がまたしても乏しく、休日が続いた2月10日に残り1機も道内から撤収しました。中止や撤収遅れなどの理由が明らかにされない今回の飛来実態に、大きな疑問が残ったのは間違いのないのではないのでしょうか。

「オスプレイ」不安だらけの飛来 日米共同訓練 1/22～2/8



連合の政策を浸透させ、労組の信頼と存在感を高めよう

連合石狩地協・札幌地区連合は、1月31日～2月1日、札幌市定山溪温泉で2020春季生活闘争石狩地域討論集会を開催しました。冒頭、連合石狩地協野宮会長は、「多くの仲間の参加に感謝する。各構成組織、連合石狩地協・各地区・区連合の連携で、地域運動のけん引役として力強い運動を展開し、春闘の取り組みを強化しよう」と檄を飛ばしました。

また、構成組織報告では、会計年度任用職員制度については（札幌市労働）、職場の格差是正の取り組み（札幌地区ユニオン／札幌パートナーユニオン）、全自交の取り組みと決意表明（全自交）があり、取り組み状況を全体で共有しました。本集會には75名が参加し、野宮会長の団結ガンバロー三唱で、2020春闘勝利を誓いました!



連合北海道札幌地区連合会ホームページ
<http://hokkaido.jtuc-rengo.jp/spk-chiku/>

QRコードで速報をチェック!

HPがリニューアル!スマホ対応になりました。

平和な社会を後世につなげるために!

- × 集団的自衛権、行使反対 ×
 - × 安保関連法、共謀罪の廃止を ×
- 連合北海道札幌地区連合会

石狩地域2020春季生活闘争 地域運動のけん引役として、力強い運動を展開しよう!



札幌市中央区北4条西12丁目ほくろウビル2階
編集発行人 野宮 佳則 ☎210-0505

2020年 3月5日 415号

連合北海道札幌地区連合会